

課題名	ミカンハダニの防除薬剤ブリクトラン水和剤の効果								
成果の要約	ブリクトラン水和剤3000倍の9月中旬以降の散布は防除効果が高く、薬害も無かった。								
成	1. 防除効果 (1975年 静岡柑試)								
	供試薬剤	使用濃度		散布前	散布後				防除効率
績		稀釈倍数	成分量%	9/18	9/22	9/30	10/9	10/18	
	ブリクトラン水和剤25	2,000	0.01	166.7	0	0	2.2	10.0	99.6
		3,000	0.008	162.2	0	0	1.1	6.7	99.4
	アミトラズ乳剤20	1,000	0.02	117.8	0	0	1.1	4.4	99.6
	マシン油乳剤97	150	0.65	101.1	1.1	0	3.3	18.9	98.4
	無散布	-	-	115.6	160.0	495.6	273.3	645.6	-
概	(1974年 愛媛果試)								
	供試薬剤	使用濃度		散布前	散布後の生息率(%)				防除効率
		稀釈倍数	成分量%	虫数	3日後	10日後	20日後	32日後	
	ブリクトラン水和剤25	2,000	0.013	203	0	1.1	0	3.3	99
		3,000	0.008	206	0	1.6	1.1	10.3	96
ベンゾメート乳剤20	1,500	0.013	224	67.3	73.3	16.8	13.4	48	
	無散布	-	-	252	210.1	83.3	14.5	18.5	
要	2. 薬害試験 (1982年 長崎果試)								
	散布月日	薬害発生程度			発生率	備考			
		-	±	+	+				
	7月22日	23	0	0	0	0	ジマンダイセン500倍加用		
	7、29	14	0	0	0	0			
	8、5	18	0	0	0	0			
	8、16	53	0	0	0	0			
	8、25	22	0	0	0	0			
9、6	47	0	0	0	0	オキシンドウ75、750倍加用			
普及上の留意点	8月下旬以前の散布では薬害(果実の薬斑)を生じることがあるので散布しない。								
その他	昭和57年病害虫防除基準中途採用								